

人権の広場

3月1日～8日は

女性の健康週間

【女性の健康週間】

女性は妊娠や出産をする可能性もあるなど、生涯を通して、男性とは異なる健康上の問題に直面することがあります。しかしながら、日本の女性の検診率は低い状況にあり、女性特有の病気が若い世代に増えつつあることも心配されています。ぜひ、この週間に機に検診を受けるなど、自分の身体を大切にすることを考えてみてください。

「第2次いずみさの男女共同参画行動計画（人ひとプラン）」の中でも、「男女の生涯を通じた健康・保持支援」を基本目標の一つとしています。男女が身体的性差についての理解を深め、互いの人権を尊重し、相手への思いやりを持って生きることが、誰もがいきいきとした社会づくりにとって大切なことです。

【3月8日は「国際女性デー」】

国連は1975年（国際女性年）に3月8日を国際女性の日としました。女性に対する差別撤廃と、社会開発への完全かつ平等な参加に向けた環境整備に貢献することが日本を含め各国に期待されています。

世界経済フォーラムは平成28年、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数を発表し、日本は144カ国中111位でした（平成27年は145カ国中101位）。特に政治、経済分野において格差が大きい日本の状況を反映していると考えられます。国際的視野においても、日本の社会は男女の平等が進んでいるとは言い難い状況です。日本は日本の文化、社会の状況などにも配慮しつつ、国際的な概念や考え方を重視し、国際的な協調を図ることが必要です。そのためにも、私たち一人ひとりが身近な暮らしの中の慣習や意識を見直し、男



女がともに暮らしやすい環境について考えることが大切です。
問合先 いずみさの女性センター（☎・Fax 469・7125）

「部落差別解消法」が施行されました

昨年12月16日に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。全ての国民に基本的な人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会の実現をめざす法律です。同法は、部落差別という言葉を初めて記載し、その存在を明記した法律で、部落差別のない社会を実現するため

に、国や自治体が相談体制の充実や教育、啓発に取り組むことや、国が自治体の協力を得て、差別の実態調査を行うことなどを求めています。
市では、この法律の趣旨をふまえ、引き続き同問題の解決のために取り組んでまいります。一人ひとりが違いを認め合い、お互いの人権を尊重する社会を築いていきましょう。



問合先 人権推進課

人権研修講演会

「部落問題に出会うということ ～部落差別解消推進法の成立を受けて～」

部落差別の変化をふまえ、今、部落をめぐる意識や関係性のありかたがどういう状況なのかなどについて、いくつかの事例から話していただきます。 ※申込不要、参加無料

日時 3月14日(火) 午後6時30分～8時
場所 旧下瓦屋人権文化センター 2階集会室
講師 廣岡浄進さん（大阪観光大学 准教授）
問合先 下瓦屋地域協議会 人権研修担当（☎090-8828-9878）

夜間中学校で勉強しませんか

いろいろな事情で小学校や中学校を卒業できなかった人、実質的に十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した15歳以上の人、夜間中学校で勉強しませんか。

- 入学の受付は4月28日(金)までです。
(土・日曜日、祝日は除く)
- ひらがなから勉強できます。
- 大阪府内に住んでいる人が入学できます。
- 外国籍の人でも入学できます。
- 授業料は無料です。

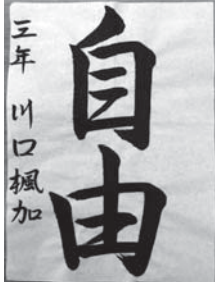

申込・問合先 岸城夜間中学校（岸和田市野田町2丁目19-19 ☎438-6553）



小・中学生人権作品「人権はみんなの課題」

問合せ先 学校教育課

小・中学校の児童や生徒から多くの人権作品が寄せられ、昨年12月3日に入賞者の受賞式が行われました。そのなかから最優秀賞作品の一部を紹介します。(順不同・敬称略)

【標語】
 気づいてよ 笑顔の中の
 佐野台小学校5年生 涙顔
 日根野谷詩織
 大丈夫？ 突破口になれ
 私の言葉
 長南中学校1年生 宮路優愛

【書道】

 ▲佐野中学校3年生 川口楓加

 ▲日根野小学校6年生 久保元斗

【ポスター】

 ▲佐野中学校3年生 南田航希

 ▲北中小学校6年生 野口陽加

【詩】 「戦争と平和」 日根野中学校1年生 阿部りよ

戦争ってどんなのだろう
 経験しなくても伝わる願い
 大切な人を返してー
 折り合わせて涙をながす
 そんな涙がおちていいのかな

戦争ってどんなのだろう
 経験しなくても伝わる差別
 あの国民とその国民
 思いは同じでも他国なら敵
 そんな差別があつていいのかな

戦争ってどんなのだろう
 経験しなくても伝わる怖さ
 あの場所に核を落とそう
 その瞬間に大勢の人が命を落とす
 そんな瞬間が存在していいのかな

戦争ってどんなのだろう
 経験しなくても伝わる空気
 静まりかえった戦地のあと
 苦しみ耐えた人々の思い
 そんな空気が伝わっていいのかな

そんな涙がおちていいわけがない
 そんな差別があつていいわけがない
 そんな瞬間が存在していいわけがない
 そんな空気が伝わっていいわけがない
 戦争はあつてはならないものなんだ

あの日 あの時 あの場所
 大切な人を失った
 その悲しみとその憎しみは
 一生心からはなれない
 だけどそんな思いをする人を
 これ以上ふやさないことはできる
 そうやって平和に一歩ちかづいてみよう
 さつと皆の思いは戦争をやめさせられる

これから私たちがつくっていく世界
 世界中の戦争がなくなり
 世界中の人々が心がから笑えるように
 私たちが平和をつくってゆこう



【読書感想文】 「だけど、くじけない」 北中小学校6年生 佐藤萌希

私は「だけど、くじけない」という本を読みました。この本を選んだ理由は、自分と年の変わらない子どもが大きな震災があったのにくじけず元気に生きようとしている姿に胸を打たれたからです。この本には、実際に震災にあった人達の写真と子ども達の作文の一部がのっています。多かった言葉は、「ありがとう」です。私も人に何かしてもらったときや感謝の気持ちを伝えたいときなどにこの言葉を使います。しかし、作文に書いてある「ありがとう」は意味が深いのかなと思いました。そして、たくさんの作文の中で私が一番心に残っている作文は、「3月11日の津波でなくなられた命も多けれど、誕生した命も多くあるから、そんな誕生する命を私は見届けたいと思って助産師になりたいと思いました。」という作文です。この作文を書いたのは私と同じ年の女の子です。被災したのに、それをきっかけに自分の将来の夢が出来たのはすごいと思います。私は大きな震災があったことがないので震災の恐ろしさを知りません。だけど、水道やガス、電気が使えなくなると、今の日常はどうなるのだろうか。そしてなにより、大切な人の命をうばい、大切な人に二度と

会えなくなることを思うと、とても悲しくてつらい気持ちになります。しかし、みんな、必死に生きようとしているのです。「だけど、くじけない」どんなにつらい出来事があつても、すべてがいやになつても、くじけないで前を向いて生きよう。このタイトルは短い言葉にとっても深い意味があると思います。この本ののっている写真はみんな笑顔です。写真はすべてこのタイトルにぴったりだと思います。最後に、この本を読んで大切だと思ったのは、助けが必要なぐらい大きな震災にあつたりして困っている人達がいるときは、助けてあげるといことです。助け方は色々あるけど、支援物資を届けたり、はげましの手紙を書いたり、全てが被災者の方にとってはうれしいものです。この本にも世界中の人達からの助けが自分達の支えになったと書いています。これは小さな災害でも同じだと思います。それに学校での友達同士でのトラブルなどでも同じです。困っている人に手を差し伸べてあげること、それは世界中どこであっても必要であり、人への思いやりがどれだけ大切なことなのか分かりました。